

# 集合と連続体の哲学

オーガナイザ：菊池 誠 (Makoto Kikuchi) 神戸大学

## 提題者

池田 真治 (Shinji Ikeda) 富山大学「点と線をめぐる数理哲学史」

藤田 博司 (Hiroshi Fujita) 愛媛大学「集合論の成立と連続体の哲理」

菊池 誠 (Makoto Kikuchi) 神戸大学「数の理解と圧搾論法」

現在の数学では連続体もしくは実数体は算術化され、有理数体をもとにコーシー列やデデキントの切断の概念を用いて構築されるものであるという理解の仕方が一般的である。しかし哲学的には、この考え方にはさまざまな異論がありえる。このワークショップでは (1) 算術化以前では連続体はどのように理解されていたのか、(2) 集合論の成立と現代的な連続体の理解の方法にはどのような関係があるか、(3) 算術化によらない連続体の数学的な理解にはどのようなものがあるのかについて議論し、集合と連続体の哲学の新たな可能性を探る。